



「高山市丹生川町特産の宿儺かぼちゃ」撮影：国際福祉開発学部2年 町野紗希衣

活動が盛んになってきています！

岐阜県福祉の講演相談会開催

8月4日[木]に社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会のキャリア支援専門員、戸本様をお招きして、岐阜県の福祉に関する話をうかがい、岐阜県のふくしについて考えました。参加された学生は2年生から4年生と幅広く、また、岐阜県出身ではない方も勉強のために参加されており、就職に対する意識の高さを感じました。講演会では、社会福祉協議会の仕事や県内福祉関係職の求人状況、関係施設の情報収集方法、すぐに参加できるボランティア情報など、たくさんの資料を準備していただいたことで、参加された学生の学びや得られた情報は大変多く、終了後のアンケートでの満足度も高い結果でした。この機会をきっかけに、将来の選択肢の幅が広がったのではないのでしょうか。



岐阜県人交流会開催！

8月4日[木]の岐阜県福祉の講演相談会の後は、岐阜県の銘菓を囲みながら岐阜県人会の交流会を開催。美浜キャンパスでの開催でしたが、東海キャンパスの学生も来ていただき、社会福祉学部の横山先生や岐阜在住の職員も一緒になって、岐阜について語りながら交流を深めました。今後、岐阜県人会でやってみたい企画を自由に出し合うワークショップでは、学園祭での特産物販売や、岐阜県内の名所を巡る

観光ツアーなどプライベートな企画から、県内の施設見学や様々な施設で働く職員の方との座談会、大学生が少ない高山市などで児童と交流するイベントを開催したいなど就職に向けた企画もたくさん挙がってきました。ぜひ、一つでも形にしながら、県人会の輪を広げて岐阜県を盛り上げていきましょう。今回参加できなかった方も、今後のイベントや交流会に是非ご参加いただければと思います。



岐阜県人会員募集

岐阜県人会では、今後、一緒に岐阜県を盛り上げてくれる学生を募集しています。登録いただくとメーリングリストに様々なイベント情報や、岐阜県の情報を発信していきます。イベントの参加だけでも大歓迎。企画運営をしていきたい学生も大歓迎。自由に活動に参加いただけます。申し込みはフォームからどうぞ。QRコードがうまくいかない場合は、こちらのアドレスへご連絡ください

gifuplus@ml.n-fukushi.ac.jp



【岐阜県人会申込フォーム】

シェアハウスで農業体験！

平成28年8月に高山市で開催されている農業研修「ワーキングホリデーin飛騨高山」に国際福祉開発学部2年生の町野紗希衣さんが参加しました。全国から集まった学生とシェアハウスで生活を共にしながら、地元農家で働きます。町野さんがお世話になった若林さんの農家では、ミニトマトや大玉トマト、地元特産品の宿儺(すくな)かぼちゃを主に扱っており、その収穫や出荷の仕事をしながら農業について学びました。

「チャレンジが自信になる」

今回は1人で参加の申し込みをしたため、最初は不安や心配ばかりでした。でも貴重な体験を通じて、農業や食物に対しての見方が変わっただけではなく、新しいことに

チャレンジしてやり切ったことが大きな自信につながりました。仕事が終わった後や休みの日は農家の方や地域の方と高山市内の観光やバーベキューをしながら交流を深め楽しみました。シェアハウスで一緒に過ごした新しい仲間との生活も含めて、1週間ではとても足りないです！

[国際福祉開発学部2年 町野紗希衣]

来年も開催される予定です。農業に興味がある方もない方も、やったことがない新しいことにチャレンジする楽しさを味わってみませんか？◆ワーキングホリデーin飛騨高山◆実施期間：8～9月の間で1週間程度◆企画・運営：特定非営利活動法人まちづくりスポット(<http://machispo.org/>)



キラッと光る☆企業見学会実施！

8月29日[月]と30日[火]に岐阜大学主催岐阜県内優良企業を見学するバスツアーが開催され本学からも学生と職員が参加してきました。



29日は中津川市内。プロ(長瀬剛、大原櫻子など)も愛用する一流ギターメーカー株式会社高峰楽器製作所と最先端の生産設備を持つ自動車電子部品工場、富士通テンマニュファクチャリング株式会社の2社に伺いました。ギター的高峰製作所目当てで参加した学生も多かったようですが、日常では絶対に入ることができない富士通の最先端の工場にはいり、そこで働く社員の方の仕事に対する姿勢に触れることができたことも大変貴重な体験になっていました。

【本学参加者の感想】

「自分が“きつい”と思ったときにチャンス」今回のツアーでは、単に仕事の見学ではなく、自分を見直すきっかけにもなりました。仕事はやりたいことをやるだけではうまくいかない、やりたくなく辛いこともやっていかないと仕事はできないと教えてもらいました。



今まで辛いことから逃げることもあったのですが、逃げずに取り組んでいける姿勢を学生のうちから身に着けたいと思い、企業見学の次の日から実践しています。他大学の学生や先生とご飯を食べながら親しくお話ができたこともとてもいい刺激になりました。[子ども発達学部2年 白石隆樹]



30日は、国際社会貢献も行う観光用洋菓子メーカーの若尾製菓株式会社と働く車の油圧部品メーカー株式会社東和製作所を訪問。皆さんが直接口にしたことがある一般消費者向けの洋菓子と、目にしたことはあるけど、大切な場所に使われている

ことは伝わりにくい油圧シリンダー。企業の想いや風土の違いも体験的に学ぶことができたあつという間の1日でした。



【本学参加者の感想】

「仕事に限界はない」

東和製作所では、勤続30年の社員さんが自分の仕事、業界の未来について一所懸命語ってくれました。その社員さんが、30年もやってきて、まだまだ自分の仕事は面白い、この仕事に限界を感じないと笑顔で語られていて、こういう方と一緒に働きたいと思いました。参加してよかったです。

[社会福祉学部3年 天白佳那]

「企業でも福祉の強みが活かせる」

今までも工場で、ものづくりの現場を見る機会はあったのですが、今回は、作業工程を知るだけではなく、企業の魅力や強み、それと自分が学んでいることを結び付けて考えることができるようになりました。新しい視点が自分の中にできたと感じます。少人数でゆっくり話せたこともよかったです。

[社会福祉学部3年 丹羽美野里]